

栃木県農業総合研究 センターニュース

No.8
2026.2



～次の季節へ～ **始 動！**



剪定後のなし園



春の開花を待つ あじさい



寒さと乾燥に耐える大麦

冬のあいだ、新芽は枝の内側で力を蓄え、麦はじっくりと根を伸ばしていきます。創設 130 周年を迎えたこの 1 年、これまでの歩みを振り返りながら、未来へと繋ぐ創造の芽を育んできました。

次の季節、そして新たな時代は、すでに始まっています。

私たちも決意を新たに、次の一步を踏み出します。

Contents

- [研究成果] 葉面散布による「にっこり」の水浸状果肉障害抑制技術 (P2)
転換田露地野菜への窒素供給予測システム (P4)
さつまいも機械定植による省力生産技術の確立 (P6)
- [成果速報] トルコギキョウの高温対策技術 (P8)
汚泥肥料活用による化学肥料減肥指針の確立 (P9)
- [試験紹介] 環境に配慮した六条大麦専用基肥一発肥料の開発 (P10)
バイオ炭施用によるビール醸造用二条大麦への効果 (P10)
アスパラガスの地上部刈取り時期が春芽の収量・品質に及ぼす影響 (P11)
天敵温存植物を利用した、土着天敵の誘引活用技術の確立に取り組んでいます (P11)
- [トピックス] 令和 7 年度イネカメムシの発生状況と対策 (P12)
栃木県農業総合研究センター創設130周年記念いちご研究所オープンラボを開催しました (P13)
にら生産振興大会で研究成果を紹介しました (P14)
- [お知らせ] 病害虫発生予察情報を発表しました (P14)

